

## School Imanishi 発音記号講座

### 0. はじめに

みなさんこんにちは、School Imanishi 英語学院の今西一太です。この講座では英語の「発音記号」についてお話をしていきたいと思います。

「発音記号」というと、学校であまり習わないし役に立つのかな、と思う人もいるかもしれません。しかし、例えば発音が分からない単語があった時、発音記号が読めないと辞書を引いても読み方が分からず、読むことも出来ません（リスニングの時にも理解できません）。また、大学入試センター試験では必ず最初に発音の問題が出題され、それを正確に解くには必ず発音記号の知識が必要です。また、発音記号の練習をするということは発音の練習を行う事でもあります。発音の練習を行えば、リスニングの時にも役に立ちます。

そんなに重要なのに、学校ではほとんどまともに授業で教えてくれるところが無いと言います。この講座を受講する皆さんは発音記号、そして英語の発音の仕組みを早いうちからマスターして、音読、リスニング、発音アクセント問題などで他の人より優位に立ってしまいましょう。

それでは、始めていきたいと思います！

#### <目次>

1. 英語の「母音」について
2. 「あ」に近い母音 æ a ʌ
3. 「いえ」に近い母音 i: ɪ e
4. 「うお」に近い母音 u: ʊ ɔ:
5. その他の母音 ə ɜ:
6. 二重母音
7. 英語の「子音」について
8. p b t d k g (閉鎖音)
9. f v θ ð s z (摩擦音・破擦音その1)
10. ʃ ʒ h ʃ dʒ (摩擦音・破擦音その2)
11. n m ŋ (鼻音)
12. l r (流音)
13. w y (半母音)
14. アクセント

## 1. 英語の「母音」について

母音とは何か … [ ] などの音。

子音とは何か … [ ] などの音。

※プリントアウトして空欄に自分で書きこんで行ってください。

日本語のひらがなは、基本的に [ ] で成り立っています。

(「あいうえお」と「ん」は例外)

日本語の母音の数 … 「 」個

英語の母音 … 数え方によるが、少なくとも「 」個以上

短母音 … 短い母音

長母音 … 長い母音

二重母音 … 二種類の違う音からなる母音

長母音の伸ばす音は ː の記号であらわしますが、ここでは代わりに : を使って表します。

「あ」に近い母音 … **æ ʌ ɑ**

「いえ」に近い母音 … **i: ɪ e**

「うお」に近い母音 … **u: ʊ ɔ:**

どれにも近くない母音 … **ə ə:**

二重母音 … **eɪ aɪ ɔɪ aʊ oʊ ɪə eə ʊə əə ɔə**

さて、ここで一つ質問です。なぜアルファベットの綴りがあるのに、わざわざ上にあるような難しい発音記号を使うのでしょうか？

それは… (続きは映像授業で！)

## 2. 「あ」に近い母音

「あ」に近い母音は3つ、**æ** **ʌ** **ɑ** です。

**æ** … 「あ」と「え」の中間の音

発音練習してみましょう。まずは単独で、それから単語で練習です。(発音記号は [ ] に入れて表します)

**cat** [cæt]

**black** [blæk]

**man** [mæn]

**land** [lænd]

**ʌ** … 奥の方で発音する短めの「あ」の音

発音練習してみましょう。

**cut** [cʌt]

**bug** [bʌg]

**but** [bʌt]

**love** [lʌv]

**ɑ** … 喉の奥の方で発音する「あ」の音。「お」にも少し近い。

発音練習してみましょう。

**hot** [hɑt]

**pot** [pɑt]

**box** [bɑks]

**got** [gɑt]

これらの母音の違いを聴いてみましょう。

**[æ] vs. [ʌ]     cat [kæt] vs. cut [kʌt]**

**fan [fæn] vs. fun [fʌn]**

**[æ] vs. [ɑ]     pat [pæt] vs. pot [pɑt]**

**sax [sæks] vs. socks [sɑks]**

**[ʌ] vs. [ɑ]     hut [hʌt] vs. hot [hɑt] (vs. hat [hæt])**

**luck [lʌk] vs. lock [lɑk]**

### 3. 「いえ」に近い母音

「い」と「え」に近い母音は、**i: i e** の三つです

注意：日本語は長い母音と短い母音を「ー」で区別しますが（「ア」と「アー」）、英語はその母音自体が長いか短いかが決まっていると考えてください。

**i:** … 日本語の「イー」とほぼ同じ音なので簡単です。

練習してみましよう。

**tee [ti:]**

**meet [mi:t]**

**i** … 「い」と「え」の中間の音、ちょっとゆるい「い」です。  
この音は辞書によっては単に **i** で書いてあることもあるので注意してください。

練習してみましよう。

**pick [pɪk]**

**stick [stɪk]**

「ピック」と「ペック」の中間、「スティック」と「ステック」の中間を意識するとうまくいきます。

**e** … 日本語の「え」と大体同じです。

発音練習してみましよう。

**end [end]**

**neck [nek]**

#### 4. 「うお」に近い母音

「う」「お」に近い音は **u: ʊɔ:** の三つです。

この三つはどれも日本語にはない音なので、非常に難しいです。心してかかってください。

**u:** … 日本語の「う」とはかなり違った音です。唇をグッと前に突き出す感覚で「ウー」と発音すると近くなります。

練習してみましよう。

**mood [mu:d]**

**soon [su:n]**

**noon [nu:n]**

**group [gru:p]**

**ʊ** … ちょっとゆるい「う」の音です。「う」と「お」の間を意識するとうまく発音できます。辞書によっては単に **u** で書いてある場合もあります。

練習してみましよう。

**good [gʊd]**

**put [pʊt]**

**hook [hʊk]**

**cook [kʊk]**

「グッド」と「ゴッド」の間、「プット」と「ポット」の間 etc. を意識してください。

**ɔ:** … 開き気味の「オー」の音です。

この音は日本語の「オー」でも近いので通じます。口の奥を開く間隔で「オー」と発音してみましよう。かなり難しいので、これが出来れば発音の才能があるかも!?

練習してみましょう。

**saw [sɔ:]**

**caught [cɔ:t]**

**taught [tɔ:t]**

**yawn [jɔ:n]**

## 5. その他の母音

「あいうえお」どれにも似ていない母音は、**ə** と **əː** です。  
まず、**ə** を練習しましょう。

これは、「**schwa**」とか「**schwa**」という専門用語で呼ばれる母音です。「あいまい」というだけあって、「あいうえお」のどれにも似ていません。(強いて言うと弱く発音した「ウ」に似ているかもしれませんが)

発音を練習します。口の中をリラックスして、そのまま声だけ出してみる感じで発音してみましょう。

次に、単語で練習しましょう。わかりやすくするためにシュワーの位置に下線を引いてあります。

**banəna** [bənəˈnə]

**tennɪs** [tenəs]

**suppose** [səˈpəʊz]

**lemɒn** [lemən]

上の単語からわかるように、**aiueo** で書いてあってもシュワーで発音するものはすごくたくさんあります。アクセントの無い母音はかなり多くがこれになります。「バナナ」ではなく「ブナーヌ」、「テニス」ではなく「テヌス」、「レモン」ではなく「レムン」の方がネイティブ英語に近い発音なんですね。

長めの単語の例も出しておきましょう。(アクセント記号付きです)

**politics** [pəˈlɪtɪks]

**ultimate** [ˈʌltɪmət]

**a cappella** [ɑː kəpˈelə]

**tradition** [trədˈɪʃən]

次に **ɜː** の練習をします。

これは先ほどのシュワーに **r** の音色が加わった母音です。右側にちよろっと出ているのは **r** の筆記体です。

この音はアメリカ英語に特有の音です。長い母音である場合が多いですが、短くなる場合もあります。

発音練習をしてみましょう。

**sir [səː]**

**burn [bɜːn]**

**work [wɜːk]**

**turn [tɜːn]**

**sister [sɪstə]**

**master [mæstə]**

この発音ができると非常にアメリカ英語っぽい発音が出来るようになります。

## 6. 二重母音

「二重母音」というのは、さっきまで習ってきた母音二つの組み合わせです。具体的には以下のようなものがあります。

**ei ai oi au ou iə eə ʊə əə ɔə**

**ei ai oi** などは **ei ai oi** となっている辞書もあります。

これらは基本的にそのまま読めばよいだけですが、一応一通り練習しておきましょう。

以下、具体的な単語の例です。

**ei gate [geɪt]**

**ai like [laɪk]**

**oi boy [bɔɪ]**

**au found [faʊnd]**

**ou low [loʊ]**

**iə deer [dɪə]**

**eə pair [peə]**

**ʊə poor [pʊə]**

**əə car [kəə]**

**ɔə four [fɔə]**

いくつか注意すべきことを述べておきます。

英語には「エー」という音はありません。「ゲート」「メーカー」「ケーキ」「チェーン」などは意識して「ゲイト」「メイク」「ケイク」「チェイン」(それぞれ gate, make, cake, chain) と、**[ei]** で発音するようにしてください。

英語には **[oʊ]** と **[ɔ:]** の区別があります。カタカナで書けば「オウ」と「オー」の区別です。たとえば以下のような違いがあります。

**oʊ low [loʊ]**

**ɔ: law [lɔ:]**

意識して [oʊ] を使うようにしてください。たとえば

**go [goʊ]** 「ゴウ」

**No, I don't [noʊ aɪ doʊnt]** 「ノウ、アウドウント」

などです。気を付けてください。

## 7. 英語の「子音」について

子音はふつう単独で発音しませんが、ここでは発音練習のために単独でも練習していきます。まずは日本語の子音を単独で発音する練習をしましょう。

**k s t n h m y r w g z d b p**

英語の子音は、普通 24 個ぐらいと言われます。

これから練習予定の英語の子音は、以下のものです。

**p b m f v θ ð t d s z ʃ ʒ tʃ dʒ n l r k g ŋ h w j**

**8. p b t d k g (閉鎖音)**

「閉鎖音」とは … 「 … 」音のことです。

英語の閉鎖音は、どれも日本語にあるものと似ているのでそれほど難しくありません。

英語の閉鎖音 … **p b t d k g**

練習してみましょう。(母音を後に付けないように気を付けて！)

6つのうち **ptk** を「 … 音」、**bdg** を「 … 音」と言います。

**ptk** … 声帯が振動しない。**bdg** … 声帯が振動する

この区別は、過去形 (-ed) の発音などの時に重要になってくるので、知識として持っておいてください。

それでは、単語で発音練習をしてみましょう。

**pipe [paɪp]**

**pain [peɪn]**

**bee [bi:]**

**cube [kju:b]**

**tee [ti:]**

**meet [mi:t]**

**die [daɪ]**

**deed [di:d]**

**key [ki:]**

**make [meɪk]**

**gain [geɪn]**

**bag [bæg]**

<応用編：リスニングに役立つ知識>

★ **ptk**、つまり「 … 音」、は日本語と比べてかなり息を強めに出すことがあります。(ここではこれを小さな h で書きます)

**pain [p<sup>h</sup>eɪn]****tee [t<sup>h</sup>i:]****key [k<sup>h</sup>i:]**

ただし、これは下の二つの条件の時だけです。

(1) p t k の後に来る母音にアクセント（第14節参照）がある。

(2) p t k が単独であり、子音が連続していない（sp kt sk などになっていない）。

**pain [p<sup>h</sup>éɪn]****shipping [ʃípɪŋ]****spain [spéɪn]****take [t<sup>h</sup>éɪk]****stake [stéɪk]**

★ アメリカ英語では t d は音が変化することがあります。t d が単独（st, nd などではなく）で、しかもそのあとの母音にアクセントが無いとき、t d は弱くなって「らりるれろ」のような音になります。

**bétter dúty ríder wríter**

イギリス英語ではこのような変化は起こりません。

**9. f v θ ð s z (摩擦音・破擦音その1)**

「摩擦音」とは … 「音」  
 (「破擦音」は次の節で扱います。)

英語の摩擦音は日本語に無い発音が多いので練習が必要です。

**f v** の音は「」と「」で発音します。  
**f** は「音」 **v** は「音」

練習してみましょう。(日本語の「ふ」とは違う音なので気を付けて!)

**fine [faɪn]**

**wife [waɪf]**

**vase [veɪs]**

**leave [li:v]**

**five[faɪv]**

**θ ð** の音は「」と「」で発音します。  
**θ** は「音」は、**ð** は「音」

練習してみましょう。

**thick [θɪk]**

**math [mæθ]**

**this [ðɪs]**

**bathe [beɪð]**

**s z** の音は日本語にもある音なので比較的簡単でしょう。

日本語の発音で意識したことはないと思いますが、発音は「」と  
 「」で行っています。

**s** は「音」は、**z** は「音」

**size [saɪz]**

**zoo [zu:]**

**miss [mɪs]**

**10. [ʒ h tʃ dʒ] (摩擦音・破擦音その2)**

**ʒ** は s z よりも少し後ろよりで発音するこもった音です。

**ʒ** は「            音」は、**ʒ** は「            音」

日本語の「シュ」「ジュ」に近いですが、それよりもっとこもった音です。唇を突き出すような感じで発音すると近くなります。

練習してみましよう。

**shine [ʃaɪn]**

**push [pʊʃ]**

**vision [vɪʒən]**

**h** は日本語の「は行」の音と大体同じ場合が多いです。

但し、日本語の場合「はひふへほ」の発音のうち「ひ」と「ほ」は **h** の音ではありません。つまり、「ひ」「ふ」で始まる単語は注意しなければいけません。練習してみましよう。

**hit [hɪt]**

**hook [hʊk]**

**tʃ dʒ** は「破擦音」(はさつおん) と呼ばれる音です。

日本語の「チュ」「ジュ」に近い音ですが、**ʒ** が入っていることから分かるように、「チュ」「ジュ」より少しこもった音です。やはり唇を突き出した形で発音すればうまくいきます。

練習してみましよう。

**chain [tʃeɪn]**

**catch [kætʃ]**

**just [dʒʌst]**

**judge [dʒʌdʒ]**

**11. n m ŋ (鼻音)**

「鼻音」というのは、「n」「m」「ŋ」の音のことです。

英語の鼻音は **n m ŋ** の三つです。

まずは **[n]** の音から練習しましょう。**[n]** は舌先を口の中の天井に付けて発音します。やってみましょう。

単語の頭や真ん中にある場合は簡単です。日本語の「な行」の音や「ん」と同じように発音すれば大丈夫。

**nice [naɪs]****under [ʌndə]**

語尾の発音には注意が必要です。日本語で語尾の「ん」を発音するとき、実はこの **[n]** の音になっていません。

英語で語尾の **[n]** を発音するときは、舌先をきちんと口の中の上の部分にくっつけるように意識してください。

**gun [gʌn]****fine [faɪn]**

「ガンヌ」「ファインヌ」のように小さく「ヌ」を付ける感じにすると、きちんと舌先が上に着く「ン」の音になります。

次に、**m** を練習しましょう。両方の唇をくっつけて発音します。練習しましょう。

母音が後に続く場合は、日本語の「ま行」で発音して構いません。

**mind [maɪnd]****German [dʒə:mən]**

**mb mp** などが含まれる単語は、わざわざ「ムブ」「ムプ」で発音する必要は



**walking [wɔ:kɪŋ]****typing [taɪpɪŋ]**

この時、「イング」と「グ」を付ける人が非常に多いですが、「グ」はほとんど言わないでください。「グ」を言わずに「ウォーキン (ㄱ)」「タイピン (ㄱ)」と、「グ」を言おうとして言わない、と言う風に発音すると完璧です。

「やかん」「パン」などの日本語の語尾の「ン」の音は **n** よりも **ŋ** に近い音です。だから実は「タイピン」と日本語で言うと、英語の **typing** にかなり近い発音になります。

逆に **win** 「勝つ」をもろ日本語で「ウィン」というと、むしろ **wing [wɪŋ]** 「翼」の方の発音に近くなります。「ウィンヌ」と小さい「ヌ」を付けて発音して、きちんと **[n]** の音にしましょう！

**Hong Kong** は「ホングコング」ではなくて「ホンコン」と言いますよね？ **ŋ** の音には「グ」の音は無いので、「ホンコン」と発音すればほぼ完璧に **Hong Kong** の発音です。

他にもいくつか練習してみましょう。

**ring [rɪŋ]****ping-pong [pɪŋpɑŋ]**

**n** と **ŋ** の区別を練習しましょう。

**wing [wɪŋ]****win [wɪn]**

**12. l r (流音)**

さて、日本人誰もが苦手な **l** と **r** がやってまいりました。心してかかりましょう。

まずは、日本語の「ら行」の音がどんな音なのかを勉強しましょう？みなさん、

ららららららら…

と言ってみてください。舌はどうなっていますか？口の中の天井にポンポンポンと当たっていませんか？

日本語の「ら行」の音は、舌を口の天井にポンポン弾いて発音する音です。(英語でも似たような音が **better, rider** など出てきます)

それを踏まえたうえで、まずは **l** を練習しましょう。

まずは母音が後ろに続く場合を練習します。「**light**」を口の中の天井に付けて、そのまま声を出してください。練習しましょう。

**light [laɪt]****lead [li:d]**

しつこいぐらい舌先をくっつけてから発音するのがコツです。最後の最後まで離さないぐらいの勢いでくっつけて発音してみましょう。

次に、母音が続かない場合を練習します。

**will [wɪl]****milk [mɪlk]**

この場合の **l** は、日本語で言うとむしろ母音の「ウ」や「オ」に近い音です。「ウィル」よりも「ウェオ」、「ミルク」よりも「ミオク」に近い発音です。

ただし、この二つの **l** の違いは普通の辞書では書き分けません。

次に、**r**に行きましょう。

これは、舌を口の中の天井に付けないようにしながら出来るだけ後ろに丸めることで発音します。練習しましょう。

**write [(w)raɪt]**

**read [(w)ri:d]**

カッコつきで **w** を書いたように、**r** で始まる単語は口を丸めてから発音し始めると **r** の音が発音しやすくなります。実際のネイティブの発音でもそうなっています。

他の子音と組み合わせあった場合も練習してみましょう。

**bright [braɪt]**

**tree [tri:]**

**dry [draɪ]**

**straight [streɪt]**

以前勉強した **ə** の音が、この子音 **r** で書いてある辞書もあります。

その場合、この講座で「二重母音」と言っているものの中にこの **r** を用いることがあります。

**car [kɑr]**

**work [wɜrk]**

最近の辞書ではこの講座でやってきたように **[kɑə]** **[wə:k]** と表している場合の方が多いですが、辞書によっては上のよう書いてある場合もありますので注意してください。

**13. w j (半母音)**

さて、ここでは **w** と **j** を練習します。

**w** は「ワ」「ウィ」「ウェ」「ウォ」などと日本語で書く発音で結構です。ただし、**u:** の場合と同じように少し唇を突き出すようにして発音するとネイティブの発音に近くなります。練習しましょう。

**wind [waɪnd]**

**war [wɔː]**

難しいのが以下のような例です。

**wood [wʊd]**

**woman [wʊmən]**

**ʊ** は「ウ」と「オ」の中間と言ったのを覚えていますか？それぞれ「ウオッド」「ウオマン」のように発音すると近い発音になります。

**j** は日本語の「や行」で構いません。発音記号では **y** ではなくて **j** を使うので気を付けてください。練習しましょう。

**yell [jel]**

**yard [jɑːd]**

## 14. アクセント

最後にアクセントについて学びましょう。

英語のアクセントは「**強弱アクセント**」と言って、単語の中の一つの母音を強く発音し、他の母音は非常に軽く発音するという特徴があります。

母音が一つしかない場合は、その母音にアクセントがあるため、アクセント記号は書きません。

**kick [kɪk]**

**strong [strɒŋ]**

母音が二個以上あるときは、どこを強く発音するべきかを示すためにアクセント記号 ' を付けます。

**independent [ɪndɪpéndənt] feature [fí:tʃə]**

また、二番目に強く読む母音に ` の記号を付ける場合があります。先ほどの記号とは「払い」の向きが逆で、右下に向かって払っています。

**independent [ɪndɪpéndənt]**

**synchronicity [sɪŋkrənísəti]**